

平成 25 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業

## 針葉樹皮を活用した果樹等の試験栽培

### 埼玉木材チップ協同組合



#### 事業の目的・内容

ブルーベリー農家での針葉樹樹皮の利用を拡大するため、針葉樹バークチップを培地とした新たな栽培方法の実証試験と、他の果樹等でのマルチング利用の試験をおこない、針葉樹樹皮の利用拡大を目指すとともに、耕作放棄地の解消等による地域振興を図る。



#### 今までの活動状況

当組合から産出されるバークチップ（針葉樹樹皮・広葉樹樹皮）やチップダストを培地や客土として利用し、ブルーベリーとクリの苗木を植栽した。

試験地① ブルーベリー栽培における針葉樹樹皮の培地利用試験

（植栽面積：700 m<sup>2</sup>、植栽本数：60 本、針葉樹樹皮利用料：210 m<sup>3</sup>）

試験地② ブルーベリー栽培における針葉樹樹皮のマルチング利用試験

（植栽面積：500 m<sup>2</sup>、植栽本数：40 本、針葉樹樹皮利用料：100 m<sup>3</sup>）

試験地③ クリ栽培における樹皮のマルチング利用試験

（植栽面積：720 m<sup>2</sup>、植栽本数：30 本、針葉樹樹皮利用料：150 m<sup>3</sup>）



試験地①



試験地②



試験地③



#### これからの活動・行事

今後、優劣等の経過観察を行い、新たな木質資源の有効活用方法を提案していく。

# ブルーベリー試験栽培中!!



利用していない桑畑や、



耕作していない農地を、



ブルーベリー畑へと転換してみませんか？

針葉樹バーク(樹皮)チップを利用した、  
試験栽培をご紹介します。

興味のある方は裏面へ！



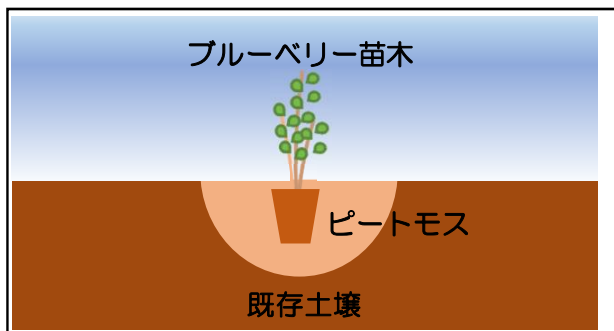
埼玉木材チップ協同組合



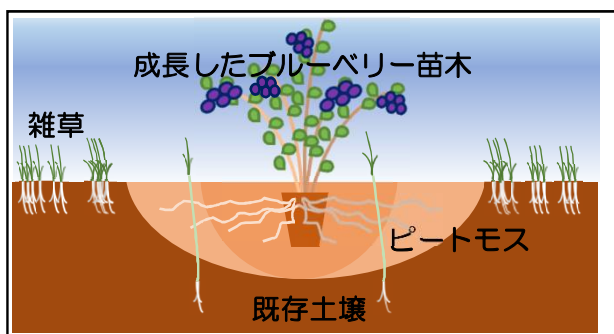
# ブルーベリーの試験栽培 概要

## 従来の栽培方法

1. 畑にピートモスを客土し、苗を植え付けます。

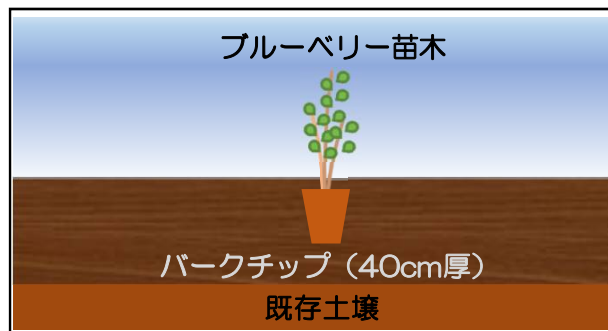


2. 根の成長や、樹勢に合わせて、ピートモスを足していきます。

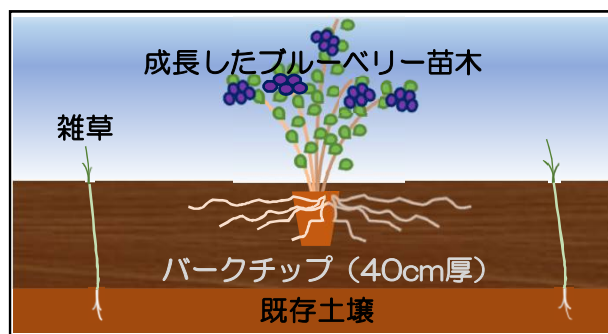


## 今回の栽培試験

1. 畑に針葉樹バークチップを敷き込み、苗を植え付けます。



2. 自然と針葉樹バークチップの中に根を張っていきます。



- 従来のブルーベリー栽培には、大量のピートモス（主にカナダ産）が使用されてきました。埼玉木材チップ協同組合で提供する針葉樹バークチップは、国産のスギ、ヒノキ等の針葉樹から生産されるため、農業資材の地産地消に貢献します。
- スギとヒノキのバーク(樹皮)は平均 pH=3.7と、カナダ産ピートモス (pH=3.5~3.9) と同程度の酸度で酸性土壌を好むブルーベリーに最適です。苗木の健全な成長が期待できます。
- マルチング効果により、土の表面に日光が届きづらいので、大きな防草効果を発揮し、除草作業時間の削減が大きく期待できます。
- マルチング効果により、乾燥防止効果が大きく、無灌水栽培の可能性を期待できます。

## 埼玉木材チップ協同組合 事務局

〒369-1301 埼玉県秩父郡長瀬町大字矢那瀬480

TEL 0494-66-4400 FAX 0494-66-4411

E-mail smchipkk-1@sunny.ocn.ne.jp

Website <http://www.saitama-chip.com>